

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社UCMフラワータウン貸店舗新築工事	階数	地上2F
建設地	兵庫県三田市弥生が丘1丁目2-2	構造	S造
用途地域	近隣商業地域	平均居住人員	200人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,920時間/年(想定値)
建物用途	物販店,集会所,病院,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年4月 予定	評価の実施日	2021年9月13日
敷地面積	2,737 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社UCM
建築面積	1,163 m <sup>2</sup>	確認日	2021年9月14日
延床面積	2,096 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社UCM



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

**Qのスコア = 2.6**

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

#### LR 環境負荷低減性

**LRのスコア = 3.3**

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内環境、サービス性能への配慮</li> <li>敷地内環境への配慮を行う</li> <li>エネルギー、資源マテリアルの確保に努めている</li> </ul>	その他 0
Q1 室内環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>全館禁煙としている</li> </ul>	<b>Q2 サービス性能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>売場天井高: 3.6m</li> <li>防汚性の高い建材の採用</li> <li>給排水配管は上位3種がB以上、Eは不使用</li> <li>各階3.90m以上</li> </ul>
LR1 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>BPI<sub>m</sub>=0.40</li> </ul>	<b>LR2 資源・マテリアル</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクル材の多用</li> <li>LGS下地の採用</li> <li>有害物質を含まない防水プライマーを採用</li> <li>押出法ポリスチレンフォーム、グラスウールの採用</li> </ul>
		<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>緑地、中高木の設置</li> <li>景観法への対応</li> </ul>
		<b>LR3 敷地外環境</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>LCCO<sub>2</sub>排出率=83%</li> <li>チェックリストの過半を満たす、広告物照明無し</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される